

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a) b・c
〈コメント〉 理念や基本方針は明文化されており、職員への行動規範となるように玄関等に掲示している他、ホームページで公開するなど、利用者や地域に向けて情報発信しています。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a) b・c
〈コメント〉 市内の園長会への参加等を通じて、市内の子どもと家庭を取り巻く環境の現状や課題、保育サービス等の実施状況を把握・分析しています。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	(a) b・c
〈コメント〉 経営環境と経営状況を把握し、経営課題を明確にして、具体的な取組みが計画的に進められています。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a) b・c
〈コメント〉 経営環境と経営状況を踏まえ、理事会を中心として中期ビジョン、事業計画が議論され、3年を単位とする事業計画及び資金計画が策定されています。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a (b) c
〈コメント〉 園内会議等で職員の意見を取り入れながら、単年度の事業計画及び予算が策定されています。今後は、中・長期計画の内容を反映した単年度計画の策定が望まれます。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a b・c
〈コメント〉 理事会において具体的な施策の実施状況を点検・評価し、次の取組みにつなげている他、職員に対しては、園内会議や個人面談の際に周知しています。	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a b c
〈コメント〉 園だよりや園のホームページなどを用いて、事業方針や事業計画の内容などを保護者等に情報発信されることを期待します。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a b c
〈コメント〉 保育園の各種取組みについての自己評価を行うなど、保育内容等について定期的に評価・見直しを行う体制の整備が望まれます。	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a b c
〈コメント〉 自己評価や第三者評価を通じて明らかになった課題の改善に取り組むことで、更なる質の向上につなげることが望まれます。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	a b・c
〈コメント〉 園長の役割と責任は職務分担表等に明記されており、園内会議等において、自らの役割と責任について説明しています。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a b・c
〈コメント〉 園長は、研修会への参加や行政機関との情報共有により、遵守すべき法令等の把握に努めています。また、その内容は園内会議等で全職員に周知されています。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a b・c
〈コメント〉 園長は、保育内容の決定プロセスにおいて、職員の意見を積極的に取り入れています。また、一人ひとりの職員に合わせた助言・指導を行い、質の向上に取り組んでいます。	

Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 園長は、保育サービスの質の向上や業務の改善に向けて、職員に対する指導力を発揮し、働きやすい職場づくりに努めています。	

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 保育園が目標とする保育の質を確保するため、法人として必要な人材の確保に取組み、人員体制を整えています。	
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a Ⓑ c
〈コメント〉 職員として必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修体制や就労環境の整備状況は良好です。今後は、職員の意向・希望を確認するコミュニケーションに基づき、職員が自らの将来を描くことができるような仕組みづくりを進めてください。	
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 職場全体で休暇を取得しやすい環境づくりに取り組んでおり、職員の就業状況や意向は、職場のコミュニケーションの中で把握されています。	
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a Ⓑ c
〈コメント〉 保育目標で目指す姿を職員一人ひとりの能力開発目標に落とし込み、それが職員の意欲や能力向上につながったかを評価する仕組みを構築することが望まれます。	
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 職員の人材育成については、園内研修の実施に加え、職員として必要とされる知識や能力の向上を目的として、外部の研修にも積極的に派遣しています。	
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a Ⓑ c
〈コメント〉 研修の受講は正規職員が中心となっており、研修で得た知識や技術の全職員への共有・展開を進めていくことが今後の課題です	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 実習生の研修・育成に関するマニュアルやプログラムが整備され、積極的な受け入れが行われています。今後もマニュアルの内容等を職員全員に周知徹底してください。	

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。		(a) b・c
〈コメント〉 保育園の事業や財務などに関する情報については、適切に公開されており、園のホームページでは、園の理念、基本方針、行事の紹介などを行っています。		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。		(a) b・c
〈コメント〉 保育園における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限が明確にされており、定期的な監査が行われています。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。		(a) b・c
〈コメント〉 富田地区で開催される石取祭への参加、近隣に所在する聖武天皇社の協力を得た七五三行事の実施等、子どもと地域との交流を広げるための取組みを行っています。		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。		(a) b・c
〈コメント〉 ボランティア等の受入れに関するマニュアルが整備されており、ボランティア等の受入れに当たっては、職員への事前説明も行われています。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		(a) b・c
〈コメント〉 四日市市こども未来部と緊密に連携しており、関係機関への各種相談・連携窓口が明確化されています。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。		(a) b・c
〈コメント〉 未就園児とその保護者が気軽に利用し、交流や育児相談が出来る場、子育て情報を提供する場として、子育て支援センターを運営しています。		
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。		(a) b・c
〈コメント〉 地域の子育て支援センターの運営を通じて子育て家庭に対する支援を行い、地域の福祉ニーズの把握に努めています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a b・c
<コメント> 理念や基本方針に基づき、一人ひとりの子どもを大切にした保育を行っています。園内会議・研修等の機会に職員全体で話し合う場が持たれています。	
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a b・c
<コメント> 子どものプライバシー保護・虐待防止等の権利擁護について、園内会議・研修で周知・徹底が図られています。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a b・c
<コメント> 法人のホームページやパンフレットを活用して、提供する保育の内容等の情報を発信しています。また、施設の見学希望や個別相談にも対応しています。	
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a b・c
<コメント> 必要な物品などについては、ホームページ上にリストや説明を記載するなど、保護者が理解しやすいように工夫しています。また、変更にあたっては、お便りの配布や説明を行っています。	
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a b c
<コメント> 保育所の変更等は適切に引継ぎが行われています。利用終了後の相談には職員が対応していますが、担当者や窓口を明確にし、書面等で伝えておくことが望まれます。	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a b c
<コメント> 連絡帳のやり取りや送迎時のコミュニケーションの中で利用者満足の把握に努めています。今後は、定期的に利用者満足を把握し、把握した結果を分析・検討する仕組みを整備することが望まれます。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a b c
<コメント> 保護者等が苦情や意見・要望を申し出しやすい工夫を行うとともに、苦情等の内容や解決結果等について、苦情等を申し出た利用者に配慮したうえで公表するなどの手順を整備されることを期待します。	

Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a (b) c
<p><コメント> 職員から保護者への積極的な声掛けや相談スペースの確保等の環境整備を進め、保護者が意向・要望を伝えやすい仕組みを工夫することが望まれます。</p>	
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	(a) b・c
<p><コメント> 保護者からの相談や意見、提案に対しては、職員全体で対応方針や改善策を話し合い、速やかな対応に取り組んでいます。</p>	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a (b) c
<p><コメント> ヒヤリハットや事故報告が丁寧に記録されており、その内容や発生場所等の情報を収集し、職員会議で共有することで安全対策に取り組んでいます。一方、自己評価では、事故発生時の手順の職員への周知が十分ではないという意見がありましたので、園内会議や研修を通じて手順の周知徹底を図ってください。</p>	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a (b) c
<p><コメント> 感染症予防や発生時におけるマニュアルが策定されていますが、自己評価において職員への周知が十分ではないという意見がありましたので、園内会議や研修を通じてマニュアル等の周知徹底を図ってください。</p>	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	(a) b・c
<p><コメント> 災害対策については、定められたルールに従って対策がとられています。今後は、対応状況を保護者へフィードバックする等、利用者の安全・安心を更に高める取り組みが望まれます。</p>	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	(a) b・c
<p><コメント> 職員の違いなどによる保育水準・内容の差異がないよう、理念や基本方針に基づき、年間・月次・週次の指導計画を作成し、保育サービスを提供しています。</p>	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	(a) b・c
<p><コメント> 標準的な実施方法は、職員や保護者等からの意見や提案を反映しながら定期的に見直しを行っています。</p>	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 児童票を用いてアセスメントを行い、子どもの発達や状況を踏まえて指導計画を策定しています。	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 指導計画は、定期的な評価・見直しを行っており、評価・見直しの際には課題や改善策を明確にして、次の指導計画の作成に活かしています。	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 指導計画や保育記録等をパソコン上で管理する保育業務支援システムを導入することで、保育士の作業負担を軽減するとともに、保育内容について職員間で共有できる体制を整えています。	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a Ⓑ c
〈コメント〉 個人情報を含む記録については、職員室で保管されていますが、外部の人の出入りが多くありますので、書類やパソコン等の管理ルールの徹底に加え、職員室のフロア区分や入退室ルールの見直しなど、管理体制を更に高める取り組みが望まれます。	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

	第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 地域の子育て経験者と子どもたちとの交流が活発に行われており、その中で十分なコミュニケーションが図られています。	
Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	Ⓐ b・c
〈コメント〉 四日市北警察署との間で相互の情報交換が日常的に行われており、警察と連携した交通安全教室なども実施しています。	
Ⅳ-1-④ 地域の環境保護に貢献している。	a Ⓑ c
〈コメント〉 職員は、ごみの分別や園周辺の清掃を通じて環境美化に取り組んでいます。今後は子どもたちの環境保護意識をめばえさせる取り組みを実現されることを期待します。	